

福島原発事故による長期影響地域の生活回復のための 福島県民と国際的な専門家との対話集会

放射能汚染地域における生活と環境の回復における住民参加の重要性

日時 平成24年11月3日(土・祝) 9:30~12:30
場所 コラッセ福島(福島駅西口)
定員 100名(申込者多数の場合は抽選)
主催 環境省
協力 国際放射線防護委員会(ICRP)、福島県立医科大学

主旨

このたび、放射線の健康影響等に関する豊富な知見を有する諸外国専門家を招いて福島県民の皆様との対話集会を開催いたします。

国では、東京電力福島第一原子力発電所の事故時に放出された放射性物質による健康影響への不安を抱える国民の皆様への対応として、放射線による健康影響や環境モニタリング結果等の様々な情報提供と説明等を行っています。また、過去の原子力事故における住民への対応に関する知見を有する国際放射線防護委員会(ICRP)からは、福島県においても除染と廃棄物処理、放射線教育や健康調査等を通じて、福島県民の皆様の生活と環境が回復しつつあると指摘されています。

この対話集会は、日ごろより福島県民の皆様が抱えている放射線による健康影響に関しての不安や疑問に対して、科学的知見を有した専門家がお応えし、放射線による健康影響等に関して理解を深めていただくためのものです。

なお当日は自由に討論できるよう、同時通訳を準備してございますので、ぜひ多くの方々にご参加いただき、日ごろの疑問など自由にご質問をいただければと存じます。

プログラム

9:00	(開場)
9:30	開会
9:30 - 9:35	開会の挨拶 環境省放射線健康管理担当参事官
9:35 - 9:40	専門家代表より歓迎の挨拶 クレア・カズンズ(ICRP主委員会 委員長)
9:40 - 9:55	話題提供:放射能汚染からの回復における住民参加の重要性 ジャック・ロシャル(ICRP第4委会長)
9:50 - 10:30	福島からの発信 地方紙からの発信 早川正也(福島民報) 地域住民からの発信 蜂須賀礼子(大熊町) 地域医療からの発信 土屋敏之(土屋病院) 除染チームからの発信 森谷賢(環境省福島除染推進チーム)
10:30-10:45	(休憩)
10:45 - 12:25	ラウンドテーブル討論・福島と国際的な専門家との対話 進行 ジャック・ロシャル(ICRP第4委会長) 情報提供:菊池克彦(福島民友)、大森真(テレビユー福島)、梶原みずほ(朝日新聞)、佐藤利松(JA新ふくしま)、半澤隆宏(伊達市)、野中俊吉(コープ福島)、崎田裕子(NPO元気ネット) ラウンドテーブルでの討論と会場との意見交換
12:25 - 12:30	ラウンドテーブル討論を終えて アベル・ゴンザレス(ICRP主委員会 副委員長)
12:30	閉会

福島原発事故による長期影響地域の生活回復のための

福島県民と国際的な専門家との対話集会

放射能汚染地域における生活と環境の回復における住民参加の重要性

事前登録申込（11月1日（木）正午・必着）

日本エヌ・ユー・エス株式会社（事務局）宛

Fax：03 - 5925 - 6745（Tel：03 - 5925 - 6750）

お名前	連絡先	
	Fax	Tel

申込者多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承願います。抽選に漏れた方には、抽選結果を11月1日中に連絡いたします。

お子様連れで託児サービスをご希望の方はご相談ください。